

細菌が世界の“食”の安定供給に貢献



光エネルギーを利用して生育する “光合成細菌”が大活躍

皆さんエビは好きですか？世界中で大人気のエビは中国、タイ、ベトナム、インドネシアなどが主な産地になっています。そのエビ養殖の現場で今、大変な問題となっているのが、エビの病気の発生です。その問題に立ち向かえるのが、私の研究の一つである“光合成細菌”の活用だと考えています。“光合成細菌”は、家畜の栄養補給、水田、畑、水産養殖場の環境改善、排水処理などに利用されている安全な菌です。現在 *Rhodovulum sulfidophilum*（ロドブラムサルフィドフィラム）という名の海水から分離した“光合成細菌”を熊本県他のクルマエビ養殖場で利用して、「クルマエビの生産性を上げるため」の研究をしています。これを、今後は中国やアジアのエビの養殖場にも活用して、美味しく安全なエビを世界中の皆さんの食卓にお届けできるようになれば！と理想を描いて学生たちと一緒に研究をしています。

生物生命学部 応用生命科学科 **宮坂均** 教授



崇城大学

SOJO UNIVERSITY

薬学部	生物生命学部	工学部			情報学部	芸術学部			
薬学科	応用微生物 工学科	応用生命 科学科	機械工学科	ナノサイエンス 学科	建築学科	宇宙航空 システム工学科	情報学科	美術学科	デザイン学科

〒860-0082

熊本市西区池田 4-22-1

問い合わせ(入試課直通)

TEL:096-326-6810

そうじょう大学

検索